

英語・日本語の意味の問題について

水 野 満

日英両国語の比較が日本語教育にとって大切なことであることは既に誰もが認めていることだと思います。その比較は Phonology および Syntax の分野でなされるようになり、漸く意味の分野にまでのびてきました。勿論その大部分は純粋な言語学の立場からなされたもので、日本語教育をあるいは英語教育を考えてのものではありません。そこでこれらの成果の実践面での応用を考えるのは、どうもわれわれ現場の教師ということになりそうです。

さて、意味の比較が重要であるのは次のような理由によります。外国語の学習者は、初期の段階にあっては学習外国語を自分の母国語へ移行するという過程を避けることができないと考えるからです。しかし適切な訓練によっては、ある段階を過ぎると、この移行速度が迅速になり殆んど無意識のうちにまた瞬時のうちに必要な外国語が浮かぶようになります。そこでこの際の両国語の意味対応を適確な形で与えていればこの速度の迅速化を計ることが可能になると考えられます。

これに対して大方の意見は、どの言語間でも意味が完全に一致するものはないから、訳語のみを与えて、あたかも当該の言語の意味が一致しているような感じを学習者に与えてしまうのはいけないとしています。また更に、訳語を与えることによって、学習者が学習言語に接する度に、母国語に移行しないと承知をしないという習慣を形成してしまうとも言っています。つまり訳語を与えることにより、学習阻害の罪の方が大きいと考えているのです。

問題は、しかし、はたしてそうでしょうか。実はここでもう一度そのことをふり返って考えてみる必要があるように思います。その理由は、母国語との対比が不可避であるなら、それを逆に使ってみたらどうかと思うからです。たとえ、意味の不一致があるにせよ、そのことを教師自身が自覚していて注意深くその対応語を考えて与えてみたらどうかということです。要は外国語から母国語への移行の速度を促進させることに成功すれば、この問題は解決しそうに思えるからです。

この間の事情を実例によってみてみましょう。ただしこの場合は英語の学習者の例です。構文と語彙の把握のための Pattern Practice という今では周知の学習法があります。例えば University of Michigan の Pattern Practice の I'm going to school という構文を学習させるのに、School のところに種々の単語をおきかえることによる反復練習が出てきます。ところがこの構文を覚えているはずの学習者に、日本語で「明日学校へ行きます」という発話を与えると、その殆んどが "I go to school tomorrow," という英文を出します。勿論、実際の場面ではそのどちらでもよいわけですが、ここで問題としているのは、学習した構文が出ないという点にあるわけです。訓練が足りない、説明不足とも言えますが、根本的なことを考える必要があるのではないのでしょうか。そこで、その治療策として、他の同様な構文やいろいろな動作を与えたりして、be going to の持つ意味の把握をさせようとしています。

そこで私はこの間の移行関係を解明しようとして、語研で今年から始めた英語演習講座で、まず英語を聴取させ、すぐその後でその英語に相当する日本語を与え、原文の英語を再現させる試みをしてみることにしました。使用した材料は、VOA の 1,000 語の英語の Tornado(1) と題する物語を録音したものと、映画の Breakfast at Tiffany's(2) の録音教材 2 点です。(1) (2) とも日本語から英語への移行の際の原文との相違をみるためです。学習者は大学、1, 2, 3, 年の混成クラスでかなり進んだ学力を持っています。両教材の使用方法是、まず原文を 3 回聞かせ、4 回目の聴取で各

文毎に直ちに口頭で英語を述べさせ、あるいは書かせます。次に参考のために本文の一部とその日本語を挙げておきます。

(1) The sky grew darker. The chickens stopped eating. They became strangely quiet, standing first on one leg, then on the other, moving their heads quickly from one side to the other. The cats in the field ran towards the hats. Yet the dogs did not bark at the cats, nor ran after them and the hair on the backs of the cats stood straight up. Mom and Dad were looking at the clouds, so were the workers in the fields. Then workers quickly began to walk towards the house, following the cats. Everyone talked softly as if someone was sick. I do not think they were afraid, just careful.

The clouds began to move wildly, as if they were angry. A warm wind blew, then a cold one. Suddenly a wind came down from the black clouds and it began to turn around and around in little circles. It did not come completely down to the ground, but seemed to hang from the clouds. The wind at the bottom looked like a thin line. Higher up, the circles were much wider. It was the beginning of a tornado.

空が更に暗くなってきた。鶏は食べるのをやめた。おかしいほどに静かになり、はじめは片足で立ち、次にはもう一方で立ち、首を一方から他方へと急がしく動かしていた。畠にいた猫は家に向かって走っていった。それにもかかわらず、犬は猫に向かって吠えようとしなばかりか、追おうとしなかった。しかし猫はその背の毛を逆立てていた。お父さんとお母さんは雲を見つめており、畠で仕事をしている人々もまた雲を見つめていた。それから仕事をしている人々は、猫に続いて急いで家に向かって歩き始めた。誰もが、誰かが病気ででもあるように、静かに話していた。私は人々が恐がっていたとは思っていない。ただ注意深くしていたのだと思う。

雲は、丁度怒ってでもいるかのように、烈しく動き始めた。暖かい風が吹き、続いて冷たい風が吹いてきた。突然風が黒雲から吹いてきて、小さな円になってぐるぐると廻り始めた。それは地上には完全には降りてこないで、雲から垂れ下がっているようであった。一番底の風は細い線のように見えた。それよりずっと高い

所では、円はもっと広がった。それは竜巻の始まりであった。

実は日本語から英語の原文の再現の前に、日本語表現に口頭で直させることをしてみました。この時学生にはあらかじめ直訳は避け、日本語らしい表現を考えるようにと告げてありますが、学習者にとってはむしろ直訳の方が容易のようです。これはもちろん聞いたあとで直ちに口頭で述べるという時間的な制約を受けていることにもよりますが、直訳すなわち直接対応すると考えられることばに置きかえた方が容易であると言えると思います。

(2) の録音教材は次のようなものです。

Paul: I'm sorry to bother you but I couldn't get the downstairs door open. I guess they sent me the upstairs key, I couldn't get the downstairs door open. I said, I guess they sent me the upstairs key, I couldn't get the downstairs door open. I'm sorry to wake you.

Holly: That's quite all right. It could happen to anyone, quite frequently does. Goodnight.

Pall: I hate to bother you, but if I could ask one more favor. Could I use the phone?

Holly: Sure. Why not?

Paul: Thank you. Well, this nice little place you've got here. You just moved in too, huh?

Holly: No. I've been here about a year. The phone's over there. Well, it was. Oh, I remember. I stuck it in the suitcase, kind of muffles the sound.

日本語表現

ポール： ご迷惑をおかけしますが、下の部屋のドアがあけられ

ませんので。この上の部屋のドアの鍵を持ってきてくれてしまったようで、下の部屋のドアがあけられないんです。〔上のくり返し〕

ホーリー： かまいませんわ。誰にでも起こることですもの。それもよくあることですわ。お休み。

ポール： ご迷惑ついでもう一つお願いがあるんですが。お電話をお借りできますか。

ホーリー： ええ、どうぞ。

ポール： どうも。なかなかこじんまりとしたいい部屋ですね。あなたもこしてきたばかりですか。

ホーリー： いいえ。私は一年程になります。お電話はあそこです。あれ、そこにあったんだけど。思い出しましたわ。スーツケースの中に突っ込んでしまったんです。音をなんとか消そうとして。

この日本語表現でお分かりのように、日本語らしい表現にしようと試みていますが、学習者に原文を出させるのに都合のよいように考えてあります。これに対して学生たちの出した英文の1例は次のようなものです。

P: I'm sorry to trouble you, but the door of downstairs cannot open. It seems that the key which you brought is that of upstairs, so the door of downstairs cannot open. I'm soory to get you up from sleep.

H: Not at all. Anyone will do such a thing. And that it often occurs.

P: I'm so sorry but I have another trouble. May I use your telephone?

H: All right, please.

P: Many thanks to you. It's a nice room, isn't it? Do you also

come here recently?

H: No. I have been here for a year. The telephone is there. Oh, it was there but it is not there now. I remember. I put that into the suitcase. I did so to maffer (muffle の聞き違い) the noise.

いわゆる和文英訳としてはかなりの出来だと言えましょう。しかしここで注意すべきことは、一度原文を耳にしているにもかかわらず、原文再現の際には、明らかに日本語の構造で考えた結果の英語表現があるということです。このような表現の相違を多くの例からとり出して、日本人学習者の頭の中の動きを考察することにより、教材の導入方法を考えることができると思います。

日本語あるいは英語への移行を要求しても、これだけの相違が出て来ます。かなり進んだ学習者でもそうです。こうなると、対応を考えない、他の方法、例えば Questions and Answers Drills とか先にあげた Pattern Practice のみでは、はたして学習者が学習言語の意味を完全に把握したかどうかは一応疑われます。

しかし、以上の考察の結果から直ちに適切な形で対応するものを与える学習法がよいという結論を出すわけにはいかないと思います。これは、外国語の学習をどのようにみるかの問題にもふれるからです。つまり、外国語でものを考え、発表できる能力と、外国語を聞いて分る能力とがあればよいとするのか、あるいはその事を確かめる意味からも、日本語におきかえる能力を持たねば真に外国語を理解したと言えないのかという問題にもなるからです。この点はまだまだ論議の余地がありましょう。しかし今ここで直接問題にしようとするところからはずれますのでふれないでおきます。

以上のことを頭の中に入れておいて、次のような面で日本語・英語の比較を考えてみましょう。

両国語を比較する際に、(1)訳語のレベルと(2)翻訳レベルの2段階が考えられます。(1)では学習の過程として逐語訳をほどこし、その際に、単

語が持つ意味に、それがあある構文中に出てくるいわゆる文脈におかれる場合の意味をプラスします。(2)では文全体の意味の把握のために、単語の意味+文脈+言語外の意味を考えるということです。

ここでは外国語を学習するという目的を持つ以上、意味の比較には(1)・(2)を考えねばならないと考えておきます。この際特に注意しなければならないことは、単語が持つ意味は、それがおかれた環境によって変化することです。「池」ということばを例にとって考えてみましょう。「池」を辞書の記述でみると、水をたたえたところ、水のたまっているくぼ地(三省堂・明解国語辞典)となっています。実際に文の中に現われている、

(1) 雨が降らないので、池に水がない。

(2) 大雨が降って道が池になった。

の2つの例をみてみます。

同じ池ではありますが、どのような相違があるでしょうか。英語におきかえてみます。

(1) Since there had been no rain, the pond dried up.

(2) Because of the heavy rain, the road turns into a pond.

これで分ることは、(1)の池では実体としての池ではありますが、(2)の場合には、池という実体の属性を持ったものです。この英語へのおきかえによって明らかなように、同じ池でも、それがおかれた環境によって、実は意味に変化が起きているわけです。こうしたものが私たちが当面考えねばならない意味なのです。この2例のみでは明確ではありませんが、この例をみた限りにおいては、後にくる動詞「なる」と関係があるかも知れません。

また日本語の ni (に) と (e) への考察をした日下部文夫氏の論文(言語研究 53 号)もこの意味のことを考える際に参考にし得るものです。以下引用します。

京都 ni 行く

京都 e 行く

この例にみるように、どちらも同じ方向性を持つ。eの方が経過・移動に焦点、niは到達点に重きを置く。目標をたてることは同じだが、niは目標それ自体の選択にだけ関わりを持つ。eは目標へ向かっての動作・作用の選択にも関わっていると言えるよう。

下の例の場合には、

大学生 ni なる ○

大学生 e なる ×

eの選択する動作・作用は移動の実質を含んでいなければならぬ。そこで実質のない動詞なるではだめ。

意味の問題を考える際には上例のような考察が必要となります。簡単に訳語を与えればすむという考え方への一つの警告となります。

さて、両言語の比較には、その比較基準を設定することが必要です。比較には互いに対応するものがなくてはなりません。つまり、文法レベルでは、日本語にない冠詞をいくら合わせようとしても無理なことですし、また語レベルでは、おかもち、そば、すしのようなものの対応語を探そうとしてもあるはずがありません。

比較の際の資料はできるだけ多く集めることが必要です。そこでここでは、比較の出発点の参考に供すべく、便宜上簡単な資料での日英両国語の意味の上での対応がどのようになっているかをみることとします。資料はE・Gサイデンステッカー・那須聖共著による「日本語らしい表現から英語らしい表現へ」によりました。これらはすべて先に述べた文脈におかれた語の意味を考えなくては対応語が考えられないものです。

1. だめ

(1) 川 千 だめですね。お茶をやってるのなんかありませんよ。

英 訳 Very unlikely. Not one of them is interested in tea.

前 の 文 会社のお友達でも三四人おつれになったら
いかが?

英 訳 意 味 そんなことはできそうにないですね。

(2) 川 千 だめですよ。

英 訳 Not the slightest chance

前 後 の 文 心得のない方のほうがいいのよ、支度がお
粗末ですから。お気楽に来ていただきます
う。

「——」と菊治は吐きだすやうに言った。

英 訳 意 味 全然見込みはありませんよ。

(3) 谷 蓼 駄目なのよ高夏さんは。

英 訳 It was most disappointing.

2. 話

(1) 川 千 あのお話ね、先方は気が進んでらっしゃ
るんですから、...

英 訳 The Inamuras are very interested in
you,...

訳者コメント 直接訳なし the story は英語ではだめ。訳
をするとすれば、
About the arrangement I made,...

(2) 川 千 ええ、まあ、こんな話、電話では出来ませ
んわ。

英 訳 This isn't the sort of question you settle
over the telephone.

(3) 川 千 お嬢さんも今度のお話を、まあすすんでら
っしゃるんでせう。

英 訳 ...as far as she's concerned matters
are going beautifully

訳者コメント 乗り気だという意味にとれば、ここは
She's here, and that means she is very
much interested in (*the matter*)

- (4) 喉の話はもうやめよう。
Let's drop the throats.

3. 勝手

- (1) 川 千 私が勝手なことをしてあるだけなんですか
ら。

英 訳 I'm just being bold.

訳 語 selfish, self-willed, wilful, at one's pleasure.

- (2) 川 千 ...あんたが勝手にしたんだろう。

英 訳 but you did it all by yourself.

- (3) 川 千 私もお茶室へは勝手にはいれなくなります
わ。

英 訳 I won't have my way with the cottage.
(I won't be able to go to the cottage
freely...)

川...川端康成

千...千羽鶴

谷...谷崎潤一郎

蓼...蓼喰ふ虫

次にこれらの資料から、意味探求としてどのような処理をすればよいのかを参考程度に述べてみます。資料中の「話」を例にとって考えてみましょう。完全な分析は未了のため簡単なデモンストレーションとお考え下さい。

例にみる通り、「話」を簡単に story という訳語をあてはめてみてもだめな事がめいりようです。ですから、「話」はどのような意味を持つかを

みておく必要があります。このような資料がじゅうぶんあれば、辞書項目のように整理ができますが、とり敢えずここでは辞書の記述に頼ることにします。(三省堂・新国語中辞典)。訳語の一つである story の意味は The Random House Dictionary の記述によります。更に対応語を考える際の参考となる 和英辞典の「話」の項の訳語もみる必要があります(研究社・和英大辞典)。

話

- | | |
|----------------|----------------------------|
| 1. 話すこと、談話。 | 「おもしろい——」 |
| 2. 相談。 | 「——にのる」 |
| 3. うわさ、評判。 | 「君はドイツへ行くという——だね」 |
| 4. わけ、事情。 | 「——を聞けばもっともだと思われる」 |
| 5. 道理、すじみち | 「——のわかる男だ」 |
| 6. 縁談。 | 「娘にいくつか——が来ている」 |
| 7. 言ってみるだけのこと。 | 「『もっと元氣を出したらどうか』とい
——さ」 |

8. 落語

Story

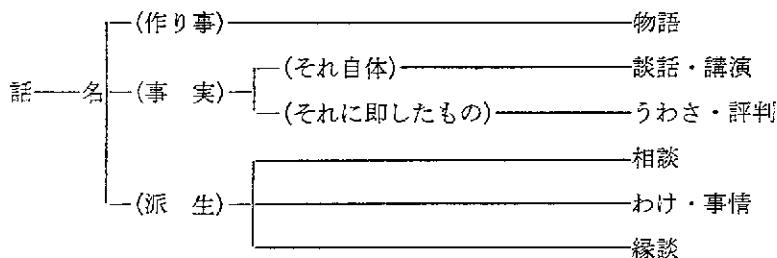
1. a narrative, either true or fictitious, in prose or verse, designed to interest, amuse, or instruct the hearer or reader; *tale* (物語)
2. a fictitious tale, shorter and less elaborate than a novel
3. such narratives or tales as a branch of literature: song and story (短編小説)
4. the plot or succession of incidents of a novel, poem, drama, etc.:
The characterizations were good, but the story was weak. (筋)
5. a narration of an incident or a series of events or an example of these that is or may be narrated, as an anecdote, joke, etc. (昔話。伝説)
6. a narration of the events in the life of a person or the existence

of a thing, one such events as a subject for narration: the story of medicine, the story of his life is amazing. (経歴, 逸話)

7. a report or account of a matter, statement or allegation: The story goes that he rejected the offer. (世間に伝わっている)
8. See news story. (記事)
9. Informal. a lie: What he said about himself turned out to be a story. (作り話)

話	[1] 談話	(1) {	a talk, a conversation, a chat
			a gossip
		(2)	a speech, an address
		(3)	a lecture
		(4)	a remark, a statement
	[2] 物語		a story, a tale, a fable, an episode
	事実談		a description, an account, a narrative, a romance
	[3] うわさ		a rumor, a report, news, an account
	[4] 相談		consultation, negotiations
	[5] 事情		fact, reasons

三つの辞書の記述から、とも角早急に行ないたいことは、この記述方法の整理が必要であることでしょう。こうばらばらに記述されていたのでは学習者の方が面くらってしまいます。そこで、暫定的に話の辞書記述を参考にして整理の一方法を考えてみました。



こうした意味の記述の整理ができていると、英語の対応語をひき出すのが容易になります。従って比較も可能になります。更にこのように記述された意味のどれを取るかを示すなんらかのマーカーがあれば学習者にとっての意味選択の上で大いに役立つことにはなりますが、事はそう簡単ではありません。しかし、このような試みをしているうちに新しい何かを発見することが可能になります。

結論としてまとめますと、以上参考程度にお示ししたような意味記述を進めることが必要であり、その上で対応するものを与えるか否かの決定を下すべきであると考えます。

追記

講座で配布した資料を次に掲げておきます。これらは例の数が不足でありますので整理方法もただら列したに過ぎません。講座開講時では参考に供する程度でしたので、いずれ詳しい分析と整理を発表する予定です。

(資料)

無	駄 (川口・深川)	そんな無駄をいい合いながら...
	(英訳)	While this unusual conversation was going on.
	(訳者注)	this idle conversation, this useless conversation は英語では親しい間でも言わない。

よごれる	歯がよごれる	
	(川・千)	すぐよごれます。
	(英訳)	...but they turn yellow in a hurry.
	(訳者注)	Teeth get dirty

あきれる	(語訳)	be astonished (amazed) at, dumb-founded by
	(川・千)	へええ、あきれたね。 You don't think you're being a little forward.
	(英訳意味)	少し度が過ぎているように思わないかね。

改まる		
	(語訳)	be renewed, be renovated, assume a new aspect, be altered
	(川・千)	...ちか子は少し改まって言った。
	(英訳)	Her manner became more businesslike.

縛	る (川・千)	しかし、奥さんをほんとうに縛るものもないはずでせう。
	(英 訳)	What is there to make you feel guilty.
	(訳者コメント)	精神的な拘束, 苦しみ bind, tie up, arrest では綱でしばる逮捕するという意味になってしまう。

し め っ ぽ い		僕はああ云ふしめっぽい話は嫌いなんだが、...
		I'don't like tearful conversation, ...
	(訳 語)	damp, wet

よ わ っ た		うん、弱ったようも
		It was a little embarrassing.
	(訳 語)	be nonplussed, be perplexed

足 り な い (川・千)		太田さんの奥さんてのは、少し足りないんですね。
		Really, there is something wrong with that woman.
	(訳者注)	something missing, something inadequate の方がよい。

恥 か し い		
	(川・千)	どうしてあんなに逆上したのか、恥かしい。
	(英 訳)	I'm ashamed of myself.

あどけない (川・千)	実にあどけない微笑であった。
(英 訳)	It was a simple, artless smile.
(訳者コメント)	innocent ではおかしい。「しなを作らない、きわめて自然な」という意味で artless。
(川・千)	...まあいつまでもあどけなさうに見える人でしたね。
(英 訳)	...but there was something <i>childish</i> about her,...
(訳者コメント)	innocent, naive と訳したのでは意味が違う。

腹 腹を見すかす (川・千)	ちか子はたかをくくって、菊治の腹を見すかしたやうな言ひ方だった。
(英 訳)	It was as if she had read Kikui's mind.
腹をたしかめる (谷・夢)	君の方の腹をたしかめて置く必要があるんだ。
(英 訳)	I'd like to find out exactly what you have in mind.

口 口が悪くなる (川口・深)	体が丈夫になると口が悪くなるんでしょう。
(英 訳)	And as his health improves his language gets worse.

眼 眼の色を見る (谷・夢)	顔を擡げて恐る恐る父の眼の色を見た。
----------------	--------------------

(英 訳)	He looked fearfully up at his father, trying to read something from the expression on his face.
足 足もとを見る (谷・蓼)	先は足もとを見やがったのか。200ドルがビター文も負からない...
(英 訳)	But the rascal probably saw how much I wanted it and asked two hundred dollars.
人 人 が 悪 い	まあ、あたしのせいにするなんて人が悪いわ That's not fair.
神経 神経を使う	そんなことに神経を使っていらっしゃるの?
(直 訳)	Why should that bother you? Why should that make you nervous?
気 が 小 さ い	...気に入った御縁談をお捨てになるのは、気が小さうございますよ。
(川・千)	That's very small of you,...
(英 訳)	
気がまぎれる	気がまぎれますよ。
(川・千)	It will give you something to think about.
(英 訳)	

(訳 語) be diverted, forget one's cares for
a time.

気をきかす

(谷・蓼) 或はわざと気を利かして出たんかも
知れんね。

(英 訳) Or possibly she'll have gone out.
She's diplomatic.

気が利く (谷・細)

丹生さん。あなたが気が利かないの
よ、...

It's your fault, Mrs. Niu.

なんでしたら

(川・千) なんでしたらお蠟燭でも、かへって
おもしろいですよ。

(英 訳) なし

それはいかん

(川・千) それはいかん

(英 訳) That will never do.

(訳者コメント) That's no good 意味が強すぎる。

なにをおっしゃる

(川・千) なにをおっしゃる。

(英 訳) Come, now.

(訳者注) Don't be silly.

やられたね、一本

You have me there.

You've scores a point there.

心 残 り

(川・千)

...お母さまもお心残りだったでせ
うにねえ。

(英 訳)

It must have troubled her to die.

(訳者注)

心残りは仏教の影響の強い言い方

住 人 大阪の住人

(谷・細)

阪神間の代表的な奥さん

(英 訳)

a typical Osaka lady

乱 れ た 足 音

(川・雪)

駒子が乱れた足音で入って来て、

...

...komako staggered in.

い い 色

(川・雪)

指の先までいい色だよ。

"You're rosy down to the tips
of your fingers"

含 み 笑 い (川・雪)

そして一人で含み笑ひして、...

She laughed softly to herself.

罪

...いつも自分には罪がないといふ
顔をして、...

...she always manages to make
it look as if she could no one
the least harm.

ひ っ こ み ひっこみがつかない

(谷・細) 私等が附いて行ったら後で引っ込み
がつかんことになるさかいに云ふね
ん。
... if they went along, they would
have trouble refusing later.

う っ ぶ ん うっぶんを晴らす

(谷・蓼) 聊か鬱憤を晴らしに来たのさ。
(英 訳) I need someone to cheer me up
...
(訳者注) to satisfy my resentment (grudge)
では意味が強すぎる上意味が通りに
くい。

ぬ か す (谷・蓼)

この本は目下ロンドンにだって二部
とはない、そんを負けろなんてお前
が無理だと抜かすんだ。
(英 訳) He had the cheek to tell me I
couldn't find another set even
in London and I was a fool to
expect a discount.

聞 く

(川・千) さういふことは、あんたから聞きた
くないね。
(英 訳) That's not a matter I want to
discuss with you.
(訳者コメント) こういう場合 I don't want to hear
about it from you とはいわない。

I don't want to discuss it with
you.

性 が 合 う

(川・千)

性が合はないだけですわ。

(英 訳)

We just weren't meant for each
other.

い た だ く

(川・千)

お父様の懐中時計でもいただかせて
下さい。

(英 訳)

Suppose you give me your father's
pocket watch.

(訳者コメント)

いただくのが当然のような感じ。従
って May I have~Would you
give me~? を使わなかった。

口 説 き 落 す (川・雪)

女は口説き落して叶ないことには分
らないよ

Try seducing her, too...

変 に 思 う

(川口・深)

あんまり来過ぎると却って変に思わ
れるだろう。

(英 訳)

But won't people talk if I come
too often?

(訳者注)

英語国民は「人がどう思うか」より
も人がどういいうわさを立てるかを
問題にする。

薄

目

(里・椿) ...あんたが薄目なんぞつかってこ
っちを見てるからさ。

(英 訳) The way you stared. And your
eyes were half closed.

(訳者コメント) 日本語薄目を使う。目を半分開けて
...
見ようとする時は上の英語を使う。

ひいきのひき倒し

(川口・深) ...どうかすると 最良の引き倒し
で,
But he almost strangles (あるいは
smothers) me with kindness.

川口...川口松太郎

深川...深川の鈴

川 ...川端康成

雪 ...雪 国

里 ...里見 弴

椿 ...椿